

職工側ハ二十日以來工場ニ出勤スルモ作業ニ従事セズ
對策講究ノ傍ラ代表者田中熊太郎外二名ハ會社側ト會
見交渉スル所アリタルモ容易ニ妥協点ヲ察見スルニ至
ラズ二十三日會社側多胡支配人ハ一般職工ヲ工場内ニ
集合セシメ現在ノ會社状態茲將來ノ職工ニ對スル意向
等ヲ説明諒解ヲ求メタルガ一同ハ却ツテ會社ノ無誠意
ヲ憤慨スルノ状態トナリタルヲ以テ代表者等ハ機械労
働組合聯合會高山久藏ト協議ノ結果尤記妥協案ヲ作成
最後ノ交渉ヲ為スエト、直々ニ高山久藏ハ會社側ト
會見右妥協案ヲ提出シテ極力交渉シタル結果會社モ遂
ニ之ヲ容認スルニ至レリ依ツテ翌二十四日高山ヨリ一
般職工ニ對シ會見顛末ヲ報告スル所アリ一同異議ナク

廿四日解決

妥協案ヲ承認午後五時無事解決ヲ告ゲタリ

記

- 一、五ヶ年勤続賞ハ大正九年一月十八日ヨリ大正十四年
一月十七日ヲ以テ打切り五ヶ年ニ滿タザル者ハ年月
數ニヨリ按分支給ス
- 二、退職手帯ハ入職ヨリ起算シ標準率ハ會社案トス
但シ自己ノ都合ニ依リ願出解僱ノ場合ハ在職中ノ勤
勤日數及事由ニヨリ前記算出額ノ三分ノ一以上ニ酌
量支給スルニト
- 尚大正九年一月十八日ヨリ大正十四年一月十七日迄
ノ間ハ勤続賞ト重複ノ為メ控除ス
- 三、解僱手帯ハ從來支給セル十四日分ノ外一ヶ月ニ對シ